

添付資料 恵那学校歯科保健研究会のあゆみ

回数 年度 (西歴)	恵那学校歯科保健研究会	恵那市の歩み
第1回 昭和57年 (1982)	恵那学校歯科保健研究会発足 歯科医師会と養護教諭部会合同研修会 内容：自己紹介・歯科検診等にかかわる 質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県歯の優良児童生徒の恵那市代表の選出</li> <li>・市民を対象に歯のフェスティバル(S53~)健康祭(S55~)を年1回開催</li> <li>・市内の幼児対象にむし歯予防教室を実施 (ブラッシング指導・フッ化物塗布)</li> </ul>
第2回 昭和58年 (1983)	研修：歯科検診結果を個別指導に生かす 方法・健康相談のノウハウ	
第3回 昭和59年 (1984)	研修：歯科検診結果を個別指導に生かす 方法・健康相談のノウハウ —パート2—	
第4回 昭和60年 (1985)	実践発表：「位相差顕微鏡で むし歯の原因を探ろう 発表者：山岡中学校養護教諭 柘植 中先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国に先駆け「要観察歯 CO」を導入した 歯科検診を試験的に開始</li> </ul>
第5回 昭和61年 (1986)	研修：学校歯科検診の手引きについて 講話：「医食同源」 講師：恵那歯科医師会 田中 浩太郎先生 実践発表：岩邑小学校養護教諭 小川 妙子先生 中野方小学校養護教諭 加藤 志乃先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「恵那学校歯科検診の手引き」を作成し検診 基準の統一化・要観察歯 (CO) の導入</li> <li>・歯科検診前の保健調査票の導入</li> <li>・「歯科検診結果のお知らせ」改訂(要観察歯 を追加)</li> </ul>
第6回 昭和62年 (1987)	実践発表：恵那市の学校歯科保健の 現状と問題点 発表者：三郷小学校養護教諭 大平 洋子先生 講演：「今後の学校保健のあり方」 講師：愛知学院大学歯学部教授 中垣 晴男先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内初の岐阜県歯科保健優良校輩出</li> <li>・小学校6年生の DMF 歯数が3本以下になる</li> </ul>
第7回 昭和63年 (1988)	実践発表：「恵那における 学校歯科保健の現状」 —進んで歯の健康に気をつけられる子を めざして— 発表者：山岡中学校養護教諭 阿部 美代子先生 飯地小学校養護教諭 山内 貴公美先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民対象の行事、歯のフェスティバルと健康祭を 合併し一本化した「恵那市健康祭」が発足</li> <li>・複数の歯科医による検診、事前保健調査票をもとに 個別の歯科相談開始</li> </ul>
第8回 平成元年 (1989)	実践発表：要観察歯の推移と保健指導 に活かす方策 発表者：恵那市・恵南養護教諭部会 中野方小学校養護教諭 山内 貴公美先生 恵南養護教諭部会 岩邑中学校養護教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護教諭部会で要観察歯の3年間にわたる 年度間推移を追跡調査し、岐阜県歯科保健 研究大会で発表</li> <li>・岐阜県に先駆け歯科検診に歯垢診査導入 歯肉【0:健康、1:要観察、2:要治療】 恵那市保健統計にも項目を追加する</li> <li>・恵那市学校歯科健診の手引きを改訂</li> </ul>

	<p>安藤 珠支先生 講演：「歯と健康」 講師：朝日大学歯学部教授 可児 瑞夫先生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校3年生の DMF 歯数が 5 本以下となる</li> </ul>
<p>第 9 回 平成 2 年 (1990)</p>	<p>実習：口腔内写真の撮影実習 講師：恵那歯科医師会学校歯科委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中野方小学校で要観察歯へのフッ化物塗布を開始。口腔内カメラを用いて年度間推移を追い始める</li> <li>・中学校3年生の DMF 歯数が全国6年生の DMF 歯数を下回る</li> </ul>
<p>第 10 回 平成 3 年 (1991)</p>	<p>講演：「歯科保健の展望と予防歯科」 講師：中野方小学校 学校歯科医 柘植 紳平先生 実習：咀嚼能率について 講師：愛知学院大学歯学部教授 中垣 晴男先生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市保健統計に中学3年生の DMF 歯数を追加</li> <li>・歯科校医のローテーション【6年ごとに交代】開始</li> </ul>
<p>第 11 回 平成 4 年 (1992)</p>	<p>講演：「岐阜県の歯科保健について」 講師：恵那歯科医師会学校歯科委員会 奥村 明彦先生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那歯科医師会で歯科検診結果の学校間・学年間格差を是正する方策を検討</li> <li>・全国に先駆け歯肉炎予防に重点を置く歯科検診を検討、歯肉炎診断とあわせ歯垢診査導入</li> <li>1) 歯垢【付着なし・少量付着・大量付着】</li> <li>2) 「健診結果のお知らせ」改訂</li> <li>・小学校6年生の DMF 歯数が 2 本以下となる</li> </ul>
<p>第 12 回 平成 5 年 (1993)</p>	<p>公開授業参観：「歯肉炎について」 恵那西中学校歯科校医 酒向 昭司先生 総括：愛知学院大学教授 中垣 晴男先生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市保健統計に歯垢を追加 歯垢【0:付着なし、1:少量、2:多量】</li> </ul>
<p>第 13 回 平成 6 年 (1994)</p>	<p>講演：「学校歯科保健を有効に機能させるために」 講師：ライオン歯科衛生研究所 総括：愛知学院大学教授 中垣 晴男先生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校3年生の DMF 歯数が 3 本以下となる</li> </ul>
<p>第 14 回 平成 7 年 (1995)</p>	<p>講演：「子どもが自分で問題を解決できるよう助けるには」 講師：横田 美佐子先生 実践発表：恵那西中学校養護教諭 各務 公美先生 中野方中学校養護教諭 柘植 中先生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那デンタルセミナー公開講演会 講師 丸森 賢治先生 (養護教諭が参加しブラッシングについての講義を受ける)</li> <li>・全国で歯科検診内容及び健康診断票改訂</li> <li>1) 永久歯う蝕の程度をなくし C で統一</li> <li>2) 歯科医所見欄拡大、事後措置欄新設</li> <li>3) 歯肉・歯垢・歯列・咬合・顎(0:健康 1:要観察 2:要治療)を検診に導入 市保健統計改訂</li> </ul>
<p>第 15 回 平成 8 年 (1996)</p>	<p>実習：歯磨き剤を科学する 講演：「学校歯科保健を科学する」 講師：愛知学院大学歯学部教授 中垣 晴男先生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小・中学校の「歯・口腔の健康診断結果のお知らせ」文書を統一する</li> </ul>
<p>第 16 回 平成 9 年 (1997)</p>	<p>講演：「歯を守る唾液を科学する」 講師：愛知学院大学歯学部教授 中垣 晴男先生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科検診前の保健調査票改訂 個別の歯科相談の充実</li> <li>・恵那方式歯科検診体制の確立</li> </ul>

第 17 回 平成 10 年 (1998)	実習：歯の健康度チェック 歯の健康に関する総合的評価 担当：恵那歯科医師会学校歯科委員会 佐々木 晶浩先生 講演：歯の健康度チェックと個別指導 講師：愛知学院大学歯学部教授 中垣 晴男先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 6 年生の DMF 歯数が 1 本を下回る</li> </ul>
第 18 回 平成 11 年 (1999)	講演：学校歯科保健の現状とその分析 講師：恵那歯科医師会学校歯科委員会 篠原 勝彦先生 講演：なぜ学校歯科保健が必要か？ 講師：恵那歯科医師会学校歯科委員会 木村 謙三先生 実践発表：長島小学校、恵那北中学校 上矢作小学校、蛭川中学校 講演：「口腔衛生学 最新情報」 講師：愛知学院大学歯学部教授 中垣晴男先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那方式の歯科検診体制をモデルとした、「健康診断の手引き」が岐阜県歯科医師会より発行される</li> <li>・上矢作小学校、上矢作中学校で生活習慣調査にオッズ比を導入し分析、歯を通した生活習慣の向上に着目しはじめる</li> </ul>
第 19 回 平成 12 年 (2000)	講演：「県内の学校における事故の現状と訴訟にならないために」 講師：恵那歯科医師会学校歯科委員会 柘植 紳平先生 講演：「子どもの口腔外傷への対応」 講師：東京医科歯科大学大学院 宮新 美智世先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市保健統計に生活習慣調査を導入</li> <li>・中学校 3 年生の DMF 歯数が 2 本を下回る</li> </ul>
第 20 回 平成 13 年 (2001)	講演：「子どもたちの瞳が輝く歯と健康の総合的な指導を創る」 講師：大分大学教育福祉科学部 住田 実先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔の健康を通して、食生活、生活習慣の改善に着目、養護教諭部会では「お口の健康づくり点数表」を作成し、健康教育の向上に視点を広げた</li> </ul>
第 21 回 平成 14 年 (2002)	講演：「授業に歯科保健を導入する具体的手法について」 講師：恵那歯科医師会学校歯科委員会 石黒 幸司先生	
第 22 回 平成 15 年 (2003)	講演：「学校教育における歯科指導」 講師：多治見市市之倉小学校保健主事 水野 悦子先生 講演：「歯磨きから歯の健康へ」 講師：養正小学校校長 柘植 五男先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上矢作小学校が、日本学校歯科医会の指定を受け「歯・口の健康づくり推進指定校」となる。(H15.16 年度指定)</li> </ul>
第 23 回 平成 16 年 (2004)	講演：「健康は歯から口から笑顔から-体験してみよう歯の健康づくり学習-」 講師：恵那歯科医師会学校歯科委員会 柘植 紳平先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市と恵那郡南部が町村合併する</li> <li>・恵那歯科医師会が要精密検査歯 (CO-S) の診断基準を統一、試行期間に入る (平成 20 年度より導入予定)</li> <li>・上矢作小学校「歯・口の健康づくり推進指定校」発表会</li> </ul>
第 24 回 平成 17 年 (2005)	講演：「生きる力を育む 学校での歯・口の健康づくり」 講師：恵那歯科医師会学校歯科委員会 篠原 勝彦先生	

第 25 回 平成 18 年 (2006)	講演：「歯肉炎について学ぶ授業」 講師：恵那歯科医師会学校歯科委員会 佐々木 晶浩先生	・ 中学校 3 年生の DMF 歯数が 1 本を下回る
第 26 回 平成 19 年 (2007)	第 50 回 岐阜県学校歯科保健研究大会に向けて 恵那歯科医師会	・ 第 50 回岐阜県学校歯科保健研究大会準備 委員会発足
第 27 回 平成 20 年 (2008)	実践発表：「生活習慣からみえる お口の健康 ～学校歯科保健活動の実践を通して」 恵那市養護教諭部会 講演：「CO の追跡 ～過去・現在・未来～」 講師：恵那歯科医師会学校歯科委員会 篠原 勝彦先生	・ 第 50 回岐阜県歯科保健研究大会の会場と なり、養護教諭部会が発表 テーマ「生活習慣から見えるお口の健康」 ・ 要精密検査歯 (CO-S) を導入した 歯科検診の開始
第 28 回 平成 21 年 (2009)	講演：「CO の追跡 Part II ～過去・現在・未来～」 講師：恵那歯科医師会学校歯科委員会 奥村 明彦先生、石黒 幸司先生 佐々木 晶浩先生	・ 年 1 回の恵那市健康祭を健康福祉祭とし健 康や福祉を体験する場として発足 ・ 検診後家庭に配布する「歯科検診結果のお 知らせ」を改訂、歯科検診後の健康相談に 活用
第 29 回 平成 22 年 (2010)	講演：「フッ化物が普及する時代を迎えて」 講師：朝日大学歯学部教授 磯崎 篤則先生	
第 30 回 平成 23 年 (2011)	講演：「学校歯科保健の計画と実践 －児童生徒と楽しく健康教育－」 講師：ライオン歯科衛生研究所 歯科衛生士	・ 歯科検診時にまとめて診断していた歯列・ 咬合・顎について、顎関節の診断を別枠に する
第 31 回 平成 24 年 (2012)	講演：「歯のびっくりサイエンス －清涼飲料水と歯のサイエンス－」 講師：ライオン歯科衛生研究所 歯科衛生士	・ 授業に活用する顎模型を全学校各 1 基配布 (恵那市学校保健会より) ・ 要観察歯の追跡調査をおこなう ・ 教育委員会の指導により、恵那歯科保健研 究会に校長・教頭・保健主事参加
第 32 回 平成 25 年 (2013)	講演：「子どもの笑顔や自信を育てる 歯・口の健康教育」 講師：岐阜県教育委員会 スポーツ健康課 原 永子先生	・ 全国小学生歯みがき大会に市内全小学校参 加となる
第 33 回 平成 26 年 (2014)	講演：「学校歯科保健における フッ化物応用の考え方」 講師：岐阜県歯科医師会学校歯科委員会 白木 完治先生 講演：「山県市のフッ化物洗口事業」 講師：山県市歯科医師会 尾野 康夫先生	・ フッ化物洗口導入を推奨 (各地域の実情に応じて) ・ 恵那歯科医師会が歯の外傷対応パンフレッ トを作成し、各学校に配布 ・ 大井第二小学校で PMA index を導入した 歯科検診を開始
第 34 回 平成 27 年 (2015)	講演：「外傷の処置と健康診断の展望」 講師：恵那歯科医師会学校歯科委員会 柘植 紳平先生	・ 恵那市が「健幸都市」を宣言し、年 1 回の 健康・福祉祭を「健幸フェスタ」として市 民参加型健康づくりイベントが発足 ・ 大井第二小学校が日本学校歯科医会の指定 を受け「歯・口の健康づくり推進指定校」 となる。(H27.28 年度) 同時にフッ化物洗口を開始する

<p>第 35 回 平成 28 年 (2016)</p>	<p>講演：「歯と口の健康づくり 推進指定校 こぼれ話」 講師：大井第二小学校養護教諭 山内 貴公美先生 実習：口腔内撮影カメラの活用 恵那歯科医師会学校歯科委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・位相差顕微鏡・口腔内撮影カメラ 3 台 高圧蒸気滅菌器購入 (市で予算化)、検診器具のオートクレーブ滅菌開始</li> <li>・大井第二小学校 「歯・口の健康づくり推進指定校」発表会</li> </ul>
<p>第 36 回 平成 29 年 (2017)</p>	<p>実習：歯科検診における パソコンソフトの活用 講師：(株) システムマインド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科検診用ライトの LED 化</li> <li>・オートクレーブ 2 台目購入・設置</li> <li>・武並小学校でフッ化物洗口、PMA index を導入した歯科検診を開始</li> </ul>
<p>第 37 回 平成 30 年 (2018)</p>	<p>講義：「むし歯・歯周病・噛むこと」 実習：学習指導案作成 (グループワーク) 講師：ライオン歯科衛生研究所 歯科衛生士</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オートクレーブ 3, 4 台目購入・設置</li> </ul>